

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【公表番号】特表 2014-525649 (P2014-525649A)
 【公表日】平成 26 年 9 月 29 日 (2014.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-053
 【出願番号】特願 2014-525109 (P2014-525109)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 2/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/20 Z

H 0 1 M 2/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 8 月 4 日 (2015.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

請求項 1 に記載の多層構造のバスバーであって、
 前記電池接続層、前記フレキシブル回路層、及び絶縁層の少なくとも一部を覆う複数の外層をさらに備える、多層構造のバスバー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

一つの実施形態においては、一つの電池の端子 1 0 4 ・ 1 0 6 は、一つ又はそれ以上の導体板 1 0 8 により、隣接する電池の端子 1 0 4 ・ 1 0 6 に接続される。図示されているように、電池 1 0 2 a の負極端子 1 0 6 a は導体板 1 0 8 a - b によって電池 1 0 2 b の正極端子 1 0 4 b に接続され、電池 1 0 2 b の負極端子 1 0 6 b は導体板 1 0 8 b - c によって電池 1 0 2 c の正極端子 1 0 4 c に接続され、そして電池 1 0 2 c の負極端子 1 0 6 c は導体板 1 0 8 c - d によって電池 1 0 2 d の正極端子 1 0 4 d に接続される。当業者によって理解されるように、このような接続の組み合わせにより、電池 1 0 2 a - 1 0 2 d が直列に接続されることとなり、電池 1 0 2 a の正極端子 1 0 4 a と電池 1 0 2 d の負極端子 1 0 6 d との間に出力電圧 V_{out} がもたらされることとなる。 V_{out} と指定されているものの、電池 1 0 2 a の正極端子 1 0 4 a と電池 1 0 2 d の負極端子 1 0 6 d とにわたって電圧 / 電流を適用することにより、電池 1 0 2 を充電することができると理解されるべきである。